FLRF

◆平成２８年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
清野　研一郎（北海道大学遺伝子病制御研究所　免疫生物分野　教授）
多発性骨髄腫におけるインターロイキン（IL)-34の役割の解明と治療応用

【清水賞】
清井　仁（名古屋大学大学院医学系研究科　血液･腫瘍内科学　教授）
PXDモデルおよび網羅的遺伝子変異解析による新規非可逆的結合型FL3阻害剤の臨床的有効性を予測するバイオマーカーと至適併用療法の確立

【ｸﾚﾃﾞｨｾｿﾞﾝ賞】
杉田　完爾（山梨大学大学院総合研究部　小児科学講座　教授）
小児フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に関する研究:特にレナリドミドとチロシンキナーゼ阻害剤を併用する新規治療法の開発

【臨床医学特別賞】
田中　庸一（北里大学薬学部　薬物治療学Ⅳ　教授）
小児急性リンパ性白血病における遺伝要因による治療の個別化

【臨床医学特別賞】
勝屋　弘雄（熊本大学エイズ学研究センター　ポスドク研究員）
治療後成人T細胞白血病/リンパ腫患者におけるligation-mediated PCRと次世代シークエンサーを用いた微小残存病変の検出

【臨床医学特別賞】
出口　隆生（三重大学医学部附属病院　小児科　講師）
小児急性リンパ性白血病におけるフローサイトメトリーによる微小残存病変の臨床応用

【若手特別賞】
青木　孝治（千葉大学医学部附属病院　小児科　医員（大学院生））
白血病に対するinvariant NKT細胞免疫療法の応用

【一般研究賞】（順不同）
正木　庸介（東京大学医学部附属病院　輸血部　助教）
疾患iPS細胞を用いた慢性骨髄性白血病幹細胞に対する標的治療薬の開発

富澤　大輔（国立成育医療研究センター　小児がんセンター　血液腫瘍科　医長）
再発･難治乳児急性リンパ性白血病に対する脱メチル化薬アザシチジンを用いた治療法の開発

菊池　次郎（自治医科大学　分子病態治療研究センター　幹細胞制御研究部　准教授）
中枢神経浸潤を伴う小児白血病に対するエピジェネテイク療法の開発

賀古　真一（自治医科大学附属さいたま医療センター　准教授）
造血器腫瘍に対するハプロアイデンティカルドナーからの同種造血幹細胞移植(ハプロ移植)後の再発時における、腫瘍細胞のHLA同定に基づいた治療選択についての検討

荒木　真理人（順天堂大学大学院医学研究科　准教授）
MNP（骨髄増殖性腫瘍）を引き起こす分子間相互作用に着目した新規治療戦略の立案に必要なMNP発症の分子基盤の解明

千葉　奈津子（東北大学加齢医学研究所　腫瘍生物学分野　教授）
ゲノム安定性を司る中心体の異常による造血器腫瘍の発症機構の解明と治療法の開発

久保田　寧（佐賀大学　医学部　内科学講座（血液･腫瘍内科）講師）
細胞からコレステロールを引く抜く作用を有する包接化合物シクロデキストリンを使って、細胞内コレステロールを標的として急性骨髄性白血病幹細胞根絶を目指す新規治療法の開発

垣花　和彦（都立駒込病院　血液内科　医長）
消化管急性腸管移殖片対宿主病（GVHD）における腸内フローラの影響について、並びに同疾患における便微生物叢移殖（FMT)の治療応用性についての検討

FLRF

◆平成２８年度研究賞受賞者◆

横須賀　とも子（神奈川県立こども医療センター　血液再生医療科　医員）
新規診断された小児急性リンパ性白血病患者におけるアスパラギナーゼの薬物動態学解析法および薬力学的解析法の確立

岩崎　正幸（熊本大学国際先端医学研究機構　客員准教授）
MLL遺伝子再構成を伴う急性骨髄性白血病の白血病幹細胞を標的とした新規治療法の開発

金子　修三（国立研究開発法人　国立がん研究センター研究所　がん分子修飾制御学分野ユニット長）
白血病幹細胞発生モデルに着目した長鎖ノンコーディングRNAの新規がん分子標的治療への展開

【若手一般研究賞】（順不同）
水野　紘樹（大阪大学大学院医学系研究科　免疫細胞生物学　助教）
生体内における白血病細胞の動態解明と新たな創薬ターゲットの探索

田村　彰広（兵庫県立こども病院　血液腫瘍科　医長）
血液疾患におけるパトロール単球の関与

森田　剣（京都大学大学院医学研究科　人間健康科学系専攻　血液・生態防御学研究室　研究員）
骨髄異形成症候群（MDS)における分化誘導因子KLF4の機能解明と新規抗癌治療薬の開発

原（野上）愛（就実大学　薬学部　薬学科　助教）
ALL治療完遂に向けたL-アスパラキナーゼ誘発アレルギーの克服

久保田　翔（熊本大学　国際先端医学研究機構　特定事業研究員）
白血病幹細胞におけるクロマチン制御破綻のメカニズム解明と治療標的検索

平　明日香（京都大学医学部　放射線生物研究センター　研究員）
アルデヒド分解酵素複合欠損症の同定と解析:遺伝性骨髄不全の新規病態の解明

【2016年度ザ・レジェンド特別賞】
NCCHD lifetime cohort study group（国立成育医療研究センター）
小児血液・腫瘍性疾患克服者（Childhood Cancer Survivor)のコホート（NCCHD lifetime cohort　）の構築による長期フォローアップデータの収集

FLRF

◆平成27年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
高橋　秀尚（北海道大学大学院医学研究科　医化学分野　講師）
新規転写伸長制御因子Med26の混合型急性白血病への関与についての解析

【清水賞】
指田　吾郎（熊本大学国際先端医学研究機構　特別招聘　准教授）
ポリコーム群複合体変異による骨髄線維症の病態基盤

【ｸﾚﾃﾞｨｾｿﾞﾝ賞】
坂口　公祥（浜松医科大学医学部付属病院　小児科助教）
再発･難治性急性リンパ性白血病の薬剤感受性に関わる遺伝子変異の解析

【臨床医学特別賞】
青木　一成（京都大学大学院医学研究科　血液･腫瘍内科学　大学院生）
造血幹細胞移植前処置およびドナー選択の疾患別最適化

【臨床医学特別賞】
吉里　哲一（京都大学大学院医学研究科　腫瘍生物学講座　大学院生）
分子プロファイリングに基づく骨髄異形成症候群移植患者の予後予測モデルの構築

【臨床医学特別賞】
小林　正悟（福島県立医科大学付属病院　小児腫瘍科　助教）
小児再発･難治性白血病に対する低用量抗ﾋﾄ胸腺細胞免疫グロブリンを用いたT細胞充満ハプロ移植　第Ⅱ相臨床試験

【若手特別賞】
田久保　圭誉（国立国際医療研究センター研究所　生体恒常性プロジェクト長）
SIMSイメージングによる造血幹細胞ニッチの構成要素と性質の網羅的解明

【一般研究賞】(順不同)
幸谷　愛（東海大学総合医学研究所　造血腫瘍分野　専任准教授）
miRNAが転写因子欠損をレスキューする機序の解明

合山　進（東京大学医科学研究所　准教授）
白血病転写因子RUNX1分解誘導療法の開発

野波　篤（九州大学病院　遺伝子細胞療法部　臨床助教）
Calreticulin遺伝子変異による骨髄増殖性疾患発症メカニズムの解明

坂下　一夫（長野県立こども病院　血液腫瘍科　部長）
小児急性骨髄性白血病におけるprotocadherin(PCDH)17発現と予後に関する研究

岡　正啓（国立研究開発法人医薬基盤･健康･栄養研究所　細胞核輸送ダイナミクスプロジェクト　プロジェクトリーダー）
白血病発症に関わるヌクレオポリン融合遺伝子産物の機能解析

加留部　謙之輔（琉球大学医学部　細胞病理学講座　教授）
遺伝子異常に基づく成人T細胞白血病／リンパ腫の疾患分類再構築の試み

川口　裕之（防衛医科大学校　小児科学講座　准教授）
小児急性骨髄性白血病におけるメチル化阻害剤の作用機序の研究

後藤　栄治（群馬大学生体調節研究所　分子細胞制御分野　助教）
ﾋﾄB細胞におけるNFーkBシグナルの細胞生化学的解析およびB細胞リンパ腫を標的とした創薬を目指して化合物探索を行う

和田　妙子（自治医科大学　助教）
ヒストン脱メチル化酵素LSD1による前白血病幹細胞形成メカニズムの解明と臨床応用

加藤　光次（九州大学病院　血液腫瘍内科　助教）
RNA絶対定量による微小環境解析に基づくびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の層別化および新規治療法の開発

FLRF

◆平成２７年度研究賞受賞者◆

【若手一般研究賞】(順不同)
川島　希（名古屋大学大学院医学系研究科　小児科学　大学院生）
若年性骨髄単球性白血病における分子標的治療法の確立

安田　貴彦（東京大学大学院医学系研究科　細胞情報学講座　特任研究員）
ドナー由来白血病の発症機構解明

滝澤　仁（熊本大学国際先端医学拠点機構　特別招聘准教授）
ヒト骨髄組織工学を用いた白血病骨髄ニッチ因子の同定

昆　彩奈（京都大学大学院医学研究科　腫瘍生物学講座　日本学術振興会特別研究員PD）
ゲノム解析技術と遺伝子改変マウスモデルを用いた骨髄異形成症候群の分子病態の解明

西脇　聡史（豊橋市民病院　血液･腫瘍内科副部長(兼)輸血･細胞治療センター副センター長）
今後わが国での同種造血幹細胞移植の需要を推計しそのために必要なドナープールや臍帯血ストック数について検討　最適な同種造血幹細胞移植提供体制整備により期待される治療成績向上の影響について検討

齋藤　佑介（宮崎大学医学部　腫瘍生化学　講師）
白血病幹細胞における解糖系を標的とした新規治療法の開発

【2015年度ザ･レジェンド特別賞】
東京小児がん研究グループ(TCCSG)GWAS　Working　group（聖路加国際大学　臨床疫学センター　上級研究員）
小児白血病発症の遺伝学的背景に関する研究

FLRF

◆平成２６年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別賞】
千葉　滋（筑波大学医学医療系　血液内科　教授）
血液がんの前がん細胞の研究ー駆逐法開発に向けて

【清水賞】
清水　律子（東北大学大学院医学系　研究科　教授）
赤血球分化鍵因子である転写因子GATA1の機能異常が惹起する多段階赤白血病発症機構の解明

【ｸﾚﾃﾞｨｾｿﾞﾝ賞】
盛武　浩（宮崎大学医学部　小児科教室　准教授）
家族性白血病の原因遺伝子の探索

【臨床医学特別賞】
重松　明男（北海道大学病院　検査･輸血部　助教）
急性ﾘﾝﾊﾟ性白血病に対する同種造血幹細胞移植前処置の検討

【臨床医学特別賞】
名島　悠峰（がん･感染症センター　都立駒込病院血液内科　医員（常勤医））
HLA class I 遺伝子導入NOD/SCID/IL-2Rg KO（HLAclass I Tg NSG）マウスを用いた異種移植モデルによる、WT1抗原に対するﾋﾄ免疫応答の評価

【臨床医学特別賞】
大隅　朋生（国立成育医療研究センター　小児がんセンター血液腫瘍科　医員）
ABL1/PDGFRB 再構成陽性のPh-like ALL再発例に対するダサチニブ投与の安全性･有効性についての研究

【若手特別賞】
井上　大地（東京大学医科学研究所　細胞療法分野　特任助教）
MDSの病態進展におけるSETBP1変異体の機能解析と治療応用

【一般研究賞】（順不同）
稲本　賢弘（国立がん研究センター中央病院　造血幹細胞移植科　医員）
同種造血細胞移植後の移植片対宿主病の臨床的特徴と治療成績を人種間で比較するための研究

安永　正浩（国立がん研究センター東病院　新薬開発分野　ユニット長）
難治性急性ﾘﾝﾊﾟ性白血病に対するAntibody-drugconjugateの開発

松田　正（北海道大学大学院薬学研究院　衛生化学研究室　教授）
新規STAP-2とBCR-ABL蛋白のCMLがんにおける機能的相互作用の解明

梅田　雄嗣（京都大学大学院医学研究科発達小児科学　助教）
ﾋﾄES･iPS細胞由来の軟骨前駆細胞を用いた白血病分子標的薬の骨･関節形成障害に対する毒性スクリーニングシステムの開発

柴山　浩彦（大阪大学大学院医学系研究科　血液･腫瘍内科学　講師）
骨髄異形成症候群の病態形成における抗アポトーシス分子アナモルシンのはたす役割の解明と診断･治療への応用

大杉　剛生（酪農学園大学獣医学群獣医学類　実験動物学ユニット　教授）
新規がん細胞遊走阻害物質migracinの小児白血病細胞に対する効果

中畑　新吾（宮崎大学医学部機能制御学講座　腫瘍生化学分野　助教）
成人T細胞白血病(ATL)におけるPTENﾘﾝ酸化異常の分子機構の解明とその阻害剤の開発

岡村　文子（愛知県がんセンター研究所　腫瘍免疫学部　研究員）
慢性骨髄性白血病に見られる融合遺伝子bcr-ablによるrasシグナル活性化に伴うオートファジー亢進とオートファジー依存性CTLエピトープ生成の解析

南保　明日香（北海道大学大学院医学研究科　准教授）
Epstein-Barrｳｨﾙｽ関連ﾘﾝﾊﾟ腫におけるエキソソームの機能解析

FLRF

◆平成２６年度研究賞受賞者◆

【一般研究賞】（順不同）
坂田　尚己（近畿大学医学部付属病院　小児科　准教授）
小児急性リンパ性白血病におけるオートファジーの臨床的意義

佐藤　智彦（東京大学医学部附属病院　輸血部　助教）
転写因子Evi1レポーターシステムによる骨髄増殖性腫瘍幹細胞の新規分子標的の探

【若手一般研究賞】（順不同）
森　康雄（九州大学医学部　臨床助教）
骨髄異形成症候群（MDS）の病態形成における赤芽球系統特異的前駆細胞の役割

関　正史（東京大学医学部小児科　大学院生）
T細胞性急性リンパ性白血病における次世代シーケンサーを用いた統合的ゲノム解析

向井　理紗（徳島文理大学大学院　工学研究科　博士課程３年）
ヒトT細胞白血病ウィルス１型由来産物HBZタンパク質によるヒストンメチル化修飾制御機構の解析

鍋倉宰（筑波大学　生命領域学際研究センター　助教）
慢性骨髄性白血病再発に対するアロ反応性記憶ナチュラルキラー細胞を用いた免疫療法の開発

奥野　友介（名古屋大学医学部附属病院　小児がん治療センター　病院助教）
CRISPR/Casシステムを用いた若年性骨髄単球性白血病における新規原因遺伝子の解析

武藤　朋也（千葉大学医学部付属病院　血液内科　診療助教 ）
エピジェネティック制御異常に着目した骨髄系腫瘍における新規治療薬と新規バイオマーカーの確立

【2014年度ザ･レジェンド特別賞】
嶋田　博之（日本小児白血病リンパ腫研究グループ（JPLSG）Ph-like ALL WG ）
小児Ph-like ALLの診断体制の確立および予後の解明

FLRF

◆平成２５年度研究賞受賞者◆

【荻村孝　特別賞】
木村　宏 (名古屋大学大学院　医学系研究科微生物･免疫学講座ウイルス学教授)
「EBV関連T細胞リンパ腫の腫瘍細胞に生じている遺伝子異常を明らかにし、EBV関連T細胞リンパ腫発生に関わる遺伝子を探索する」

【清水賞】
赤塚　美樹（藤田保健衛生大学医学部　内科学　血液･化学療法科教室　准教授）
「ハイリスク造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植後の再発の予防と治療を目標に、選択的移植片対白血病（GVL)効果を誘導するマイナー組織適合抗原を標的としたキメラ抗原受容体（CAR)を遺伝子導入したT細胞養子免疫療法を開発する」

【クレディセゾン賞】
今村　俊彦（京都府立医科大学大学院　医学研究科小児発達医学　講師）
「IKZF1欠失陽性急性リンパ性白血病の発症に関わる新規融合遺伝子の機能解析」

【臨床医学特別賞】
加藤　元博（東京大学医学部附属病院　無菌治療部　講師）
「短縮型維持療法において治療しうる小児急性リンパ性白血病サブグループの同定」

【臨床医学特別賞】
星居　孝之（金沢大学がん進展制御研究所　遺伝子･染色体構築研究分野　助教）
「mTOR複合体制御による白血病発症･治療抵抗性獲得機構の解明」

【臨床医学特別賞】
諫田　淳也（自治医科大学附属さいたま医療センター　血液科　講師）
「白血病に対する安全かつ有効なHLA不適合移植療法の確立」

【一般研究賞】(順不同)
安永　晋一郎（広島大学原爆放射線医科学研究所　放射線災害医療研究センター　幹細胞機能学研究分野　准教授）
「Geminin発現を操作して白血病幹細胞を制御するストラテジーの確立」

横田　貴史（大阪大学大学院　医学系研究科血液･腫瘍内科　助教）
「核クロマチン構造調節蛋白SATB1によるリンパ球分化の制御機構とその破綻に伴う腫瘍発生の解析」

石田　文宏（信州大学医学部保健学科　病因･病態検査学　教授）
「アグレッシブNK細胞白血病の全エキソーム解析と新規標的分子候補の同定」

黒田　格（山梨大学医学部小児科　医学研究員）
「Philadelphia染色体陽性白血病細胞の骨髄低酸素環境下における抗がん剤および細胞傷害因子TRAILに対する感受性の解析」

安永　純一朗（京都大学ウイルス研究所　講師）
「ユビキチン修飾によるHTLV-1ウイルスタンパクの機能制御と成人T細胞白血病発がん機構における役割」

今井　陽一（東京女子医科大学　血液内科　講師）
「多発性骨髄腫の新たな治療標的となることを明らかにしたCalcineurinが多発性骨髄腫の造腫瘍性において果たす意義を明らかにする。さらに、その知見を基にCalcineurinを標的とした多発性骨髄腫の新規治療法の開発を目指す」

横山　三紀（東京医科歯科大学大学院　医歯学総合研究科　硬組織病態生化学分野　准教授）
「多発性骨髄腫に対する治療抗体Daratumumabによる細胞膜透過性亢進の検討」

松下　麻衣子（慶應義塾大学薬学部　病態生理学講座　専任講師）
「新規癌抗原を標的とした多発性骨髄腫に対する免疫治療法の開発」

後藤　裕明（神奈川県立こども医療センター　血液･再生医療科　部長）
「難治性急性リンパ性白血病に対する Tyrosine Kinase inhibitor を含む分子標的療法薬を利用した治療法の開発」

FLRF

◆平成25年度研究賞受賞者◆

【一般研究賞】
野坂　智哉（三重大学大学院医学系研究科　感染症制御医学･分子遺伝学分野　教授）
「新規幹細胞マーカーとしての PLZF の機能解析と診断･治療への応用」

進藤　岳郎（差が大学医学部　血液･腫瘍内科　助教）
「MEK阻害剤はGVHDを阻害するが、感染･腫瘍免疫と制御性T細胞を温存する事を示し、ヒト臨床試験を行うにあたっての布石としたい」

【若手特別賞】
吉見　明秀（東京大学医学部附属病院　無菌治療部/血液･腫瘍内科　助教）
「iPS細胞を用いた顆粒球輸血治療法実現のための基盤形成」

【一般研究賞】
柴　徳生（群馬大学医学部グ族病院　小児科　助教）
「小児白血病における脂肪酸合成酵素の発現解析」

亀崎　健次郎（九州大学病院　血液腫瘍内科　助教）
「ヒト造血幹細胞及び白血球幹細胞におけるエネルギー代謝機構の解析と新規標的治療の検索」

小沼　貴晶（東京大学医科学研究所　付属病院　血液腫瘍内科　助教）
「骨髄性腫瘍細胞におけるヒストン修飾により制御される新規標的遺伝子の同定と解析」

西川　拓朗（鹿児島大学病院　小児診療センター　助教）
「大量シクロフォスファミド(CY)療法の心筋障害メカニズム解明と予防法の探求」

奥山　一生（東海大学学部　奨励研究員）
「マイクロRNAによる、血液腫瘍細胞の正常化、弱体化への試み」

舩戸　道徳（国立病院機構長良医療センター　臨床研究部　研究室長）
「ヒトiPS細胞から成熟B細胞の分化誘導法を用いた新規白血病治療薬の開発」

FLRF

◆平成２４年度研究賞受賞者◆

【荻村孝　特別賞】
松岡　雅雄 (京都大学ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域 教授)
「ヒトT細胞白血病ウイルス1型による発がん・炎症連環を基礎にした成人T細胞白血病発症機構解明」

【清水賞】
真田　昌（東京大学医学部付属病院 キャンサーボード 特任助教）
「RNAスプライシング分子の後天的変異が骨髄異形成症候群（MDS）例において高頻度かつ特異的に認められることが明らかとなったが、その分子機序は依然不明のままである。本研究では、RNAスプライシング分子変異がいかにしてMDS病態や白血病への進展過程に寄与しているかを明らかとし、治療標的としての可能性を検討する。」

【クレディセゾン賞】
平山　雅浩（三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 小児科学分野 准教授）
「MLR-ELISPOT法を用いた造血細胞移植における急性GVHDの予測法の開発」

【一般研究賞】（順不同）
朴　明子（群馬県立小児医療センター 血液腫瘍科 部長）
「SNPアレイと次世代シーケンサーを用いたT細胞型急性リンパ性白血病の遺伝子解析と臨床像との関係」

古川　雄祐（自治医科大学 幹細胞制御研究部 教授）
「造血器腫瘍の抗がん剤抵抗性におけるヒストン脱アセチル化酵素（HDAC）の役割の解明と臨床応用」

海川　正人（琉球大学大学院 医学研究科 医化学講座 准教授）
「急性骨髄性白血病発症機構における抑制性免疫グロブリン様受容体の機能解析と、これを基礎とした急性骨髄性白血病新規治療法の開発」

熊野　恵城（東京大学医学部付属病院 血液・腫瘍内科 講師）
「iPS細胞化技術を用いた白血病幹細胞の病態解析」

上田　健（広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野 助教）
「造血器腫瘍発症におけるポリコーム複合体PRC2構成因子EEDの機能解析」

竹中　克斗（九州大学病院 血液・腫瘍内科 診療講師）
「高リスク骨髄増殖性腫瘍における腫瘍性幹細胞の同定と新規分子標的の探索」

中山　亨之（愛知医科大学病院 輸血部 講師）
「悪性リンパ腫細胞を保持するniche（ニッチ）は、どのように形成されるか」

川村　眞智子（東京都立駒込病院 小児科 医長）
「新規JAK2関連融合遺伝子の同定と難治性白血病の病態解明の研究」

一井　倫子（大阪大学 大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学 特任助教）
「多発性骨髄腫におけるWnt／デコリン経由の役割についての解析」

掘　浩樹（三重大学大学院医学系研究科 医学医療教育学/小児科学 教授）
「日本人小児ALL患者における6メルカプトプリン（6MP）高感受性の原因と日本人小児ALL患者の薬剤代謝上の遺伝的背景を明らかにすることで、本邦における小児ALL維持療法中の適切な薬剤投与量設定に科学的根拠を示すことを目指した研究を行う」

畠山　鎮次（北海道大学 大学院医学研究科 医化学分野 教授）
「ユビキチン依存性分子制御による白血病治療への展開基盤」

岡　剛史（岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科病理学（腫瘍病理学）分野 助教）
「成人T細胞白血病・リンパ腫発症・進展におけるSHP1蛋白の特異的発現抑制機構の解析」

FLRF

◆平成２４年度研究賞受賞者◆

【若手特別賞】
菊繁　吉謙（九州大学医学研究院 病態修復内科 日本学術振興会 特別研究員）
「白血病幹細胞特異的抗原TIM-3の機能およびシグナル解析」

【一般研究賞】（順不同）
磯田　健志（東京医科歯科大学医学部付属病院 小児科 助教）
「毛細血管拡張性運動失調症責任分子ＡＴＭによるリンパ球分化調節と腫瘍化の機構の解析」

片岡　圭亮（東京大学医学部付属病院 血液・腫瘍内科 特任助教）
「造血および白血病幹細胞ニッチの構造の解明」

Wong Richard（金沢大学　理工学域自然システム学系　教授）
「細胞膜上に存在し核と細胞質の間での分子の輸送に関与している核膜孔を構成する核膜孔複合体因子に着目し、白血病幹細胞誘導課程における核膜孔複合体因子によるエピジェネティクス制御機構を解明するのが本研究のテーマである」

飯島　一智（国立成育医療研究センター研究所 小児血液・腫瘍研究部 共同研究員）
「本邦の小児急性リンパ性白血病症例におけるBCR－ABL　Like　ALLの探索と、より簡便な診断方法の確立」

井上　朋子（九州大学大学院 医学研究院 日本学術振興会 特別研究員）
「骨髄異形成症候群に対する新規診断バイオマーカーの開発」

西岡　千恵（日本学術振興会 高知大学医学部免疫学教室 日本学術振興会 特別研究員PD）
「チロシンキナーゼ阻害剤に対する白血病細胞耐性化克服のための治療戦略」

河北　敏郎（東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター 特任助教）
「臍帯血移植後の移植片対宿主病に対する新しい評価基準と治療戦略の開発」

日浅　雅博（徳島大学 ヘルスバイオサイエンス研究部 生体材料工学分野 助教）
「骨髄腫の薬剤耐性と骨破壊病変形成におけるセリンスレオニンキナーゼPim-2の役割とPim-2を標的とした新規骨髄腫治療法の開発」

加藤　格（京都大学 小児科学教室 助教）
「白血病の中枢神経再発に寄与する白血病中枢神経微小環境の解析」

【2012年度ザ・レジェンド特別賞】
日本小児白血病リンパ腫研究 グループ　岩本　彰太郎（三重大学医学部付属病院 周産母子センター 助教）
「多次元フローサイトメトリー法による小児急性骨髄性白血病における微小残存病変の同定システムの確立と臨床応用」

FLRF

◆平成２３年度研究賞受賞者◆

【荻村孝　特別研究賞】
仲　一仁 (金沢大学がん進展制御研究所　准教授)
「チロシンキナーゼ阻害薬抵抗性のCML幹細胞を標的とした治療薬の開発」

【清水賞】
藤原　弘（愛媛大学医学部附属病院第一内科　講師）
「腫瘍抗原テロメラーゼを標的とした成人T細胞白血病に対する新たな免疫遺伝子治療体系の開発研究」

【クレディセゾン賞】
嶋田　明（名古屋大学医学部附属病院小児科　助教）
「小児急性骨髄性白血病のメチル化解析」

【一般研究賞】（順不同）
笹原　洋二（東北大学病院小児科　講師）
「NOGマウスを用いたMLLーAF10関連小児白血病発症機構の解析」

福田　隆浩（国立がん研究センター中央病院　血液腫瘍科・造血幹細胞移植科　副科長）
「急性白血病治療後の生活の質の変化に関する横断的研究」

塚原　富士子（東京女子医科大学医学部・薬理学教室　講師）
「未熟構造センサーBag1を用いた慢性骨髄性白血病幹細胞の根絶」

丸尾　聖爾（北海道大学遺伝子病制御研究所　准教授）
「EBウイルスが惹起するBリンパ球異常増殖におけるp16INK4Aーp Rbおよびp14ARFーp53がん抑制経路の意義」

池田　和彦（福島県立医科大学医学部循環器・血液内科学講座　助教）
「骨髄増殖性腫瘍におけるHMGA2の役割」

上久保　靖彦（東京大学医学部附属病院無菌治療部　助教）
「TET Oncogene Family　遺伝子結合蛋白の単離とその白血病発症機構における機能の解明」

地主　将久（北海道大学遺伝子病制御研究所　准教授）
「白血病幹細胞による腫瘍ミエロイド細胞活性を介した腫瘍進展機構の解明」

佐藤　賢文（英国インペリアルカレッジ客員研究員（京都大学ウィルス研究所　助教））
「ウィルス由来2本鎖RNAに依存したHTLV-1遺伝子発現制御メカニズム解析」

小島　研介（The University of Texas M.D.Anderson Cancer Center　招聘准教授）
「HDM2/p53を分子標的にした白血病治療：ベンチからベッドサイドへ」

三浦　康生（京都大学医学部附属病院　輸血細胞治療部　助教）
「難治性血液悪性疾患の治療成績向上を目指した間葉系幹細胞を利用した新しい臍帯血細胞移植技術の開発に関する橋渡し的研究」

池添　隆之（高知大学医学部血液・呼吸器内科　講師）
「分裂期キナーゼを標的とした白血病細胞薬剤耐性化解除の試み」

FLRF

◆平成23年度研究賞受賞者◆

【若手特別賞】
鈴木　一博（大阪大学医学部　特任准教授）
「白血病細胞-骨髄ニッチ間相互作用の新たな制御機構の解明」

【一般研究賞】（順不同）
河原　真大（京都大学医学部附属病院　血液・腫瘍内科　助教）
「造血幹細胞維持および白血病発症におけるc-Mafの役割」

杉山　大介（九州大学大学院医学研究院　准教授）
「CAGE解析による新規白血病治療標的分子の同定」

福島　健太郎（大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学　特任助教）
「CBF白血病におけるKIT遺伝子変異付加による予後増悪分子機構の解析」

和田　妙子（自治医科大学医学部幹細胞制御研究部　助教）
「造血幹細胞のゲノム安定性維持と発がん・染色体転座」

荒井　俊也（東京大学医学部附属病院がんプロフェッショナル養成プラン　特任助教）
「第7染色体の欠失型異常を有する造血器腫瘍における難治性獲得機構の解明」

坂口　公祥（浜松医科大学医学部附属病院小児科　医員）
「白血病細胞の薬剤感受性に関わるエピジェネティックな変化の解析」

平松　英文（京都大学医学部附属病院小児科　助教）
「新規治療法の開発に向けた、白血病幹細胞の同定に関する研究」

吉田　健一（東京大学医学部附属病院がんゲノミクスプロジェクト　大学院生）
「次世代シーケンサーを用いた骨髄異形成症候群の新規標的遺伝子の探索」

浅野　直子（名古屋大学医学部附属病院検査部　病院助教）
「中高齢者発症の結節硬化型ホジキンリンパ腫における臨床病理学的解析」

【2011年度ザ・レジェンド特別賞】
小児白血病疫学研究グループ　主任研究者　石田　也寸志（聖路加国際病院　小児科医長）
「小児白血病の臨床疫学研究」

FLRF

◆平成22年度研究賞受賞者◆

【荻村孝　特別研究賞】
小松　則夫 (順天堂大学医学部内科学血液学講座　教授)
「protein phosphatase 2A（PP2A)の活性化による急性前骨髄球性白血病のオールトランスレチノイン酸耐性克服とそれを応用した白血病治療薬の開発」

【清水賞】
犬飼　岳史（山梨大学医学部小児科　准教授）
「17;19転座型急性リンパ性白血病の完治を目指した病態解析と治療法の開発」

【クレディセゾン賞】
菊池　次郎（ 自治医科大学　分子病態治療研究センター　幹細胞制御研究部　講師）
「造血器悪性腫瘍幹細胞の薬剤耐性獲得の鍵分子同定による分子標的療法の開発」

【2010年度ザ･レジェンド特別賞】
小児血液学会　中央診断グループ
「小児期の骨髄異形成症候群･再生不良性貧血･先天性骨髄不全症候群の中央診断」

小児血液腫瘍疫学研究グループ
「小児期血液腫瘍性疾患における疾患登録の基盤整備に関する研究」

【一般研究賞】（順不同）
岡田　誠治（熊本大学エイズ学研究センター　教授）
「ヒト白血病マウスモデルを用いた生体イメージングによる治療評価システムの樹立」

野口　昌幸（北海道大学　遺伝子病制御研究所　癌生物分野　教授）
「ダウン症候群に合併する巨核芽球性白血病におけるTTC3分子の機能解析」

中川　正宏（東京大学医学部付属病院　血液･腫瘍内科　助教）
「NF-kBシグナルを標的とした白血病に対する新規治療法の開発」

玉置　広哉（兵庫医科大学　内科学講座血液内科　講師）
「HLA半合致移植後の再発白血病細胞の標的ミスマッチHLA消失の検出法の確立および解析」

中沢　洋三（信州大学医学部付属病院　特任研究員）
「非ウィルス遺伝子導入技術トランスポゾン法を用いた小児急性リンパ性白血病に対する遺伝子改変T細胞療法の開発」

今井　千速（新潟大学大学院医歯学系　小児科学分野　助教）
「臍帯血移植生着早期の患者末梢血を用いた、ドナー由来NK細胞の体外増幅と遺伝子改変技術の創生：臍帯血移植におけるドナーNK細胞輸注療法の開発に向けて」

大場　雄介（北海道大学大学院医学研究科　病態医科学分野　准教授）
「FRETの原理に基づくCML分子標的治療薬薬効評価法とそれを応用した薬剤耐性細胞の単離」

加藤　光次（九州大学医学部血液腫瘍内科　助教）
「幹細胞関連遺伝子を介したメモリーT細胞作成による新規養子免疫療法の開発」

黒澤　秀光（独協医科大学小児科　准教授）
「t(17;19)を有する小児難治性白血病における難治化メカニスムの検討」

FLRF

◆平成22年度研究賞受賞者◆

薗田　精昭（関西医科大学大学院医学研究科　先端医療学専攻修復医療応用系　幹細胞講座　教授）
「造血幹細胞移植（HSCT）は、白血病などの造血器悪性腫瘍の根治的治療法として確立されている。しかしながら、その根幹をなすヒト造血幹細胞（HSC）の本体はいまだに明らかにされていない。本研究では、申請者が独自に開発した骨髄腔内直接移植（IBMI）法を用いてヒト臍帯血中に同定したCD34抗原陰性HSCの幹細胞特性をさらに解明し、IBMI法を応用した安全かつ効率的なHSCT技術の開発・確立を目指す。」

鬼塚　真仁（東海大学医学部内科学系　血液・腫瘍内科学　講師）
「フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の予後に影響する薬剤代謝遺伝子多型解析」

佐藤　友亮（大阪大学大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科　医員）
「RUNX1変異を有する急性白血病におけるDNA修復経路異常の解析」

村松　秀城（名古屋大学大学院　医学系研究科　小児科学　助教）
「若年性骨髄単球性白血病の新規原因遺伝子の探索」

和田　はるか（聖マリアンナ医科大学　難病治療研究センター　講師）
「細胞リプログラミング技術を利用した持続可能な次世代腫瘍免疫療法の開発ー白血病治療モデルでの解析ー」

皆川　健太郎（神戸大学医学部付属病院　医員）
「新規RNA制御分子TFLのリンパ腫プロファイルと免疫制御メカニズムの解明」

吉見　昭秀（東京大学大学院医学系研究科　内科学専攻血液・腫瘍病態学　博士課程大学院生）
「MN1高発現難治性白血病に対する新規分子標的の同定」

吉満　誠（鹿児島大学医歯学総合研究科　特任助教）
「成人T細胞白血病リンパ腫に対する抗ウイルス療法後における患者免疫能の検討」

黒澤　彩子（国立がんセンター中央病院　幹細胞移植科　任意研修医）
「Ⅰ.第一寛解を達成した急性骨髄性白血病に関する研究Ⅱ.同種造血幹細胞移植における治療関連死亡の年次別推移」

松田　和之（信州大学医学部　附属病院　臨床検査部主任検査技師）
「遺伝子変異定量解析に基づく若年性骨髄単球性白血病に対する造血幹細胞移植成績の向上」

橋井　佳子（大阪大学　講師）
「小児白血病に対する同種造血幹細胞移植後のWT1ペプチドワクチン療法の開発と抗腫瘍免疫動態の解析」

【若手特別賞】
佐藤　卓（東京医科歯科大学　難治疾患研究所生体防御学分野　特任助教）
「I型インターフェロンと分子標的薬（イマチニブ）の併用による、白血病幹細胞を標的とした新規慢性骨髄性白血病根治療法の確立」

2010年度ザ・レジェンド特別賞とは、青木功氏、日野皓正氏の2氏を大会実行委員とした、ザ・レジェンド・チャリティープロアマトーナメントが「病に苦しむ子供たちに手をさしのべたい」としたチャリティー収益を基に設けられ、子どもの白血病克服に向けた研究の基盤整備や基礎、臨床研究者育成を目標にしています。

FLRF

◆平成21年度研究賞受賞者◆

【荻村孝　特別研究賞】
高田　穣 (京都大学放射線生物研究センター晩発効果研究部門DNA損傷シグナル研究分野　教授)
「ファンコニ貧血におけるDNA損傷応答制御機構の解析」

【清水賞】
足立　壮一（京都大学人間健康科学科　教授）
「難治性白血病に対する新規細胞死誘導機序の解析を新規治療法の開発」

【クレディセゾン賞】
麻生　範雄（熊本大学大学院医学薬学研究部　血液内科学　准教授）
「急性骨髄性白血病の遺伝子異常による予後予測と新規遺伝子変異の解析」

【ウエラ賞】
小迫　知弘（福岡大学薬学部生化学教室　助教）
「長寿遺伝子制御による新規白血病治療法開発」

【一般研究賞】(順不同)
千葉　滋（筑波大学人間総合科学研究科　教授）
「造血器腫瘍におけるNotchシグナル関連遺伝子変異の網羅的解析およびNotchシグナル異常による腫瘍発達機構の解明」

木梨　達雄（関西医科大学生命医学研究所　教授）
「接着制御分子破綻によるB細胞性リンホーマの発症機構：リンパ球のインテグリンを介した接着や移動を調整するRAPLの遺伝子欠損によって、高頻度にB細胞性リンホーマが発生する。その原因を明らかにし、ヒトへの応用を試みる」

今井　陽一（東京大学大学院医学系研究科　血液・腫瘍内科　講師）
「白血病幹細胞の幹細胞維持の分子メカニズムを明らかにし、その知見を基に白血病幹細胞を標的とした難治性白血病に対する新規分子標的療法の樹立をめざす。」

服部　浩一（東京大学医科学研究所　幹細胞治療研究センター幹細胞制御分野　准教授）
「白血病・リンパ腫細胞増殖における血液繊維素溶解系の機能解明とこれを基礎とした新規治療方法の開発」

植田　高弘（日本医科大学附属病院　小児科　講師）
「人工骨髄の作成と白血病幹細胞のニッチの解析」

安部　正博（徳島大学生体情報内科学　准教授）
「TRAIL受容体アゴニスティック抗体とTACE阻害薬の併用による効果的な造血器悪性腫瘍特異的免疫療法の開発」

宮本　敏浩（九州大学大学院医学研究院病態修復内科　講師）
「アポトーシス制御破綻による骨髄異形成症候群の発症と進展機構の解析」

田部　陽子（順天堂大学医学部臨床検査医学　准教授）
「CXCR4とインテグリンの相互作用による慢性骨髄性白血病幹細胞の骨髄定着機構とその治療的応用」

藤田　直人（広島赤十字・原爆病院小児科　副部長）
「小児悪性リンパ腫の遺伝子異常が予後に及ぼす影響」

塩原　正明（信州大学医学部小児医学講座　准教授）
「小児急性リンパ性白血病（ALL）におけるNADPHoxidase(NoX)依存症に産生されるreactive oxygen species(ROS)の、癌形質獲得への関与を分子生物学的に証明する。さらにNox5発現誘導機構の解析を踏まえた上で、Nox依存性レドックスシグナル応答を制御する事による難治性小児ALLに対する新規分子標的療法を開発するための、基礎的エビデンスの収集を目的とする。」

新井　文子（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 先端医療開発学専攻遺伝子･分子医学講座血液内科学 講師）
「眼内リンパ腫の新規診断法および治療法の開発」

村田　貴之（愛知県がんセンター（研究所）腫瘍ウイルス学部 研究員）
「EBウイルス再活性化分子機構の解析」

藤野　寿典（京都大学発達小児科学 助教）
「免疫不全マウスを用いた小児白血病の幹細胞同定、及び骨髄以外の臓器における微小環境の解析」

大河内　直子（東京大学医学部附属病院輸血部 助教）
「難治性白血病遺伝子EVI1を標的とした新規治療法の開発」

恩田　恵子（国立成育医療センター研究所発生･分化研究部 共同研究員）
「次世代型小児白血病免疫診断法の確立に関する研究」

幸谷　愛（東京大学医科学研究所先端医療研究センター分子療法分野 助教）
「miRNAを用いた白血病分化誘導療法を目指した基礎的研究」

増田　茂夫（自治医科大学再生医学研究部 助教）
「白血病の移植治療におけるMSC（間葉系幹細胞）共移植療法の開発（霊長類モデルを用いて）」

濱　麻人（名古屋大学医学部附属病院　小児科　医師）
「小児急性巨核芽球性白血病（AMKL）における遺伝子変異及び血球関連転写因子の発現解析」

西脇　聡史（名古屋第一赤十字病院　血液内科　　医師）
「標準リスク成人ALLの造血幹細胞移植の適応とリスクファクターの解析」

眞田　昌（東京大学医学部附属病院　がんゲノミクス･プロジェクト　特任助教）
「不均衡型転座der(1:7)(q10:p10)を有する骨髄異形成症候群/急性骨髄性白血病の細胞遺伝学的特徴と臨床像･予後に関する解析」

鶴澤　正仁（愛知医科大学小児科 教授）
「小児急性リンパ性白血病の残存微小病変（MRD)の分子生物学的定量法の開発」

熱田　由子（名古屋大学大学院医学系研究科造血細胞移植情報管理･生物統計学 助教）
「造血幹細胞移植後慢性graft-versus-host-diseaseに関する幹細胞ソース別のアウトカム研究」

島田　和之（名古屋大学大学院医学系研究科血液･腫瘍内科学 医師）
「血管内大細胞型B細胞ﾘﾝﾊﾟ腫に対するrituximab併用化学療法の有用性に関する検討」

FLRF

◆平成２０年度研究賞受賞者◆

石黒　寛之（東海大学医学部　講師）
「造血幹細胞移植後の長期生存者における内分泌･代謝晩期合併症の病態解明

長期生存者における糖･脂質代謝異常に対する病態解析に基づいた積極的治療法の解明」
新井　郷子（東京大学大学院　医学系研究科　講師）

「血球腫瘍原因遺伝子L3MBTL1を含む。MBTドメインをもつポリコーム分子を用いた
新しい白血病治療に関する研究」

西川　博嘉（三重大学大学院　医学系研究科　癌ワクチン治療学　講師）
「多発性骨髄腫細胞の腫瘍局所での免疫抑制機構解除による新規免疫療法の開発」

杉山　大介（九州大学大学院　医療研究院　特任准教授）
「新規生理活性ペプチドを用いた造血幹細胞増幅法の開発」

杉山　智康（筑波大学　生命環境科学研究科　助教）
「RNA interferenceによるヒストンメチル化修飾機構の解析」

佐藤　真穂（大阪府立母子保健総合医療センター　診療主任）
「T/NK細胞リンパ増殖症に対する多剤併用化学療法の有効性の検討、ならびに後遺症なき移植療法の開発」

濱　麻人（名古屋大学医学部附属病院　小児科　医師）
「小児急性巨核芽球性白血病（AMKL）における遺伝子変異及び血球関連転写因子の発現解析」

西脇　聡史（名古屋第一赤十字病院　血液内科　医師）
「標準リスク成人ALLの造血幹細胞移植の適応とリスクファクターの解析」

眞田　昌（東京大学医学部附属病院　がんゲノミクス･プロジェクト　特任助教）
「不均衡型転座der(1:7)(q10:p10)を有する骨髄異形成症候群/急性骨髄性白血病の
細胞遺伝学的特徴と臨床像･予後に関する解析」

FLRF

◆平成２０年度研究賞受賞者◆

【荻村孝賞】
山岡　昇司 (東京医科歯科大学大学院　医歯学総合研究科　ウイルス制御学　教授)
「成人T細胞白血病細胞における異常なNF-kB活性化メカニズムの解明」

【清水賞】
江口　峰斉（愛媛大学大学院　医学系研究科小児医学　特任講師）
「MLL遺伝子再構成陽性白血病の白血病幹細胞の同定と新規治療法の開発」

【クレディセゾン賞】
大杉　剛生（　熊本大学　生命資源研究･支援センター　動物資源開発研究部門　病態遺伝分野　准教授）
「ヒト細胞白血病ウイルス1型（HTLV－1）tax遺伝子導入マウスを用いた加齢に伴う白血病発症における癌抑制遺伝子p53の機能解析」

【ウエラ賞】
伊藤　圭介（ハーバード大学医学部　日本学術振興会海外特別研究員）
「白血病幹細胞の自己複製機構解明及び標的療法開発①PMLを標的とした新白血病療法の確立②白血病幹細胞の分子生物学的解析」

【一般研究賞】（順不同）
高見　昭良（金沢大学附属病院　輸血部　准教授）
「血液がんに対する同種造血幹細胞移植治療成績向上を目的としたFcガンマレセプターⅢa(FCGRⅢa)遺伝子」

石井　秀始（九州大学生体防御医学研究所　細胞機能制御学研究部門　分子腫瘍学分野　特任准教授）
「癌抑制遺伝子Fhitによる造血器腫瘍の酸化ストレス細胞死制御」

西村　良成（金沢大学大学院　医学系研究科小児科学　講師）
「紫外線照射を併用し大量の抑制性樹状細胞を利用した新たなGVHD制御方法の開発」

服部　豊（慶應義塾大学薬学部　病態生理学講座　教授）
「多発性骨髄腫の再発の分子機構とその克服」

吉田　優（神戸大学大学院医学研究科　内科学講座消化器内科学分野　特任准教授）
「Helicobacter heilmannii感染マウス胃リンパ腫成立における宿主サイトカインの役割」

海老原　康博（東京大学医科学研究所附属病院　小児細胞移植科　助教）
「骨髄性白血病における生物学的性状に基づく腫瘍特性の解析」

石塚　賢治（福岡大学病院　腫瘍･血液･感染症内科　講師）
「植物由来抗腫瘍活性成分の臨床応用のための探索的研究」

田川　博之（秋田大学医学部　第三内科　助教）
「悪性リンパ腫におけるがん遺伝子「microRNA-17-92」の機能解析」

中島　英規（国立育成医療センター研究所　研究員）
「小児白血病細胞の質量分析装置を利用した発現糖鎖の解析とその新規診断法開発への応用の試み」

森　直樹（琉球大学大学院　医学研究科病原生物学分野　教授）
「成人T細胞白血病の生存因子シトリン」

小島　研介（和歌山県立医科大学　輸血･血液疾患治療部　講師）
「G2/M期タンパク制御による、急性骨髄性白血病細胞（AML）におけるp53依存性アポトーシスの増強」

FLRF

◆平成１９年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
上條　岳彦 (千葉県がんセンター研究所生化学研究部長)
「染色体部位3q26に位置するBmil新規結合PolycombPHC3の
小児急性骨髄性白血病･骨髄異型性症候群における役割の研究」

【清水賞】
細川　好孝（愛知医科大学生化学教室　教授）
「マルトリンパ腫転座関連キメラ分子API2-MALTIの機能解析と診断･治療への応用」

【クレディセゾン賞】
高橋　強志（東京大学医学部附属病院血液腫瘍内科　講師）
「血液悪性腫瘍に対するナチュラルキラー（NK)T細胞を用いた免疫細胞治療法の開発」

【ウエラ賞】
大島　隆幸（徳島大学薬学部　専任講師）
「ﾋﾄT細胞白血病ウイルスI型マイナス鎖にｺｰﾄﾞされるHBZタンパク質による遺伝子発現応答機構」

【一般研究賞】（順不同）
辻　浩一郎（東京大学医科学研究所先端医療研究センター細胞療法分野　准教授）
「若年性骨髄単核球性白血病（JMML）に対するGM-CSF受容体ーRASシグナル経路を標的とする新規治療法の開発」

福田　誠司（島根大学医学部　小児科学教室　講師）
「survivinと p21WAF1を標的とした活性型Flt3陽性急性白血病の治療開発に関する研究」

木村　晋也（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部）
「慢性骨髄性白血病を1年間で完治可能とする治療法の開発」

永井　正（自治医科大学　准教授）
「DSCR-1/calcineurin系を標的とした白血病分子マーカーおよび分子標的治療の開発」

岩本　彰太郎（三重大学医学部附属病院小児科）
「多次元フローサイトメトリー法による小児急性リンパ性白血病微小残存病変検出システムの構築と臨床応用」

湯尻　俊昭（山口大学医学部附属病院第３内科）
「白血病発症機構におけるMEK kinase1の機能解析」

相良　康子（福岡県赤十字血液センター研究ー課長）
「ATL発症に関わる生体分子の同定」

竹中　克斗（九州大学病院血液腫瘍内科　助教）
「白血病幹細胞特異的に発現するmicroRNAの同定と、microRNAを標的とした新規治療法開発に
ついての基礎的検討」

浦野　健（島根大学医学部病態生化学　教授）
「分裂期キナーゼによる急性骨髄性白血病関連遺伝子産物ヌクレオフォスミンの機能制御」

今留　謙一（国立成育医療センター研究所母児感染研究部　研究員）
「移植治療におけるEBウイルス感染細胞増殖制御に関する研究」

畠山　鎮次（北海道大学大学院医学研究科医学専攻生化学講座医科学分野　教授）
「多発性骨髄腫細胞の細胞内品質管理におけるユビキチン化酵素Ro52の役割」

FLRF

◆平成１９年度研究賞受賞者◆

前川　洋一（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体防御医学分野　講師）
「白血病の発症の関与するNotchシグナルの標的遺伝子同定」

市川　幹（東京大学医学部附属病院血液･腫瘍内科　助教）
「正常核型急性骨髄性白血病発症における新たな分子機構の解明」

保仙　直毅（大阪大学大学院医学系研究科癌幹細胞制御学寄附講座　准教授）
「急性骨髄性白血病幹細胞特異的抗原CD96の治療標的としての評価および機能解析」

小埜　良一（三重大学大学院医学系研究科感染症制御医学　助教）
「染色体11q23転座型白血病における白血病幹細胞の分子基盤の解析」

山本　雅裕（大阪大学大学院医学系研究科免役制御学　助教）
「ユビキチン関連分子UBC13によるNALTリンパ腫の制御機能の解明」

車　　暁芳（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科分子腫瘍　助教）
「ATL細胞で発現しているsurvivinを標的とした新規抗がん剤の開発」

黒田　純也（京都府立医科大学内科学血液･腫瘍内科部門　助教）
「低酸素骨髄ニッチ環境における薬剤耐性白血病細胞のプログラム細胞死制御機構の解明と、
その応用における新しい分子標的治療開発」

定　明子（神戸大学大学院医学部血液･腫瘍内科　大学院生）
「好酸球増多症候群Hypereosinophilic syndrome(HES)の分子病態に基く新しい治療法の確立」

小原　明（東邦大学医療センター大森病院輸血部　教授）
「小児T細胞性急性リンパ球白血病のプレドニゾロン治療反応性観察における芽球目視鏡検法と
フローサイトメトリー法の比較検討：全国多施設共同臨床試験における臨床検査精度の問題解決」

FLRF

◆平成１８年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
黒川　峰夫（東京大学医学部付属病院　血液･腫瘍内科　教授）
「エピジェネティクス異常に基づく白血病発症機構の解明と治療標的の同定」

【清水賞】
石井榮一（佐賀大学医学部　小児科　助教授）
「小児B前駆細胞型急性リンパ球白血病におけるB細胞分化関連遺伝子異常の解析」

【クレディセゾン賞】
小笠原康悦（国立国際医療センター研究所　難知性疾患研究部　臨床免役研究室　室長）
「造血幹細胞移植におけるNK関連分子の役割」

【ウエラ賞】
吉田　清嗣（東京医科歯科大学　難治疾患研究所　助教授）
「DNA損傷におけるAb1キナーゼの核-細胞質クロストーク制御の解明と慢性骨髄性白血病への応用」

【運営委員長特別賞】
江口　真理子（獨協医科大学　内科学（血液）助手）
「白血病関連転写因子TELと新規結合蛋白が造血細胞の分化と腫瘍化に果たす役割」

【一般研究賞】（順不同）
岩崎　浩己（ 九州大学病院　遺伝子･細胞療法部　助手）
「Notch－１陽性AML芽球分画の幹細胞活性および薬剤耐性に関する研究」

渡辺　則彦 (京都大学大学院医学研究科　先端領域融合医学研究機構　特任助手)
「新規の樹状細胞活性化因子TSLPを用いた腫瘍特異的メモリーT細胞増殖系の確立と白血病免役療法への応用」

的崎　尚（ 群馬大学生体調整研究所　バイオシグナル分野　教授）
「白血病におけるSHP-2チロシンホスファターゼの異常に関する研究」

中島　秀明（東京大学医科学研究所　研究拠点形成　助教授）
「血液系転写因子による白血病幹細胞の自己複製能制御メカニズムの解明と臨床応用」

稲葉　俊哉（広島大学原爆放射線医科学研究所　がん分子病態研究分野研究者）
「7番染色体長腕（7q）欠失責任遺伝子候補の機能解析」

清河　信敬（ 国立成育医療センター研究所　発生･分化研究部長）
「小児白血病細胞の遺伝子変異解析研究」

岡本　康裕（鹿児島大学病院　小児医療センター）
「急性白血病における血管内皮細胞の役割に関する研究」

渋谷　彰（筑波大学大学院基礎医学系免疫学　教授）
「Fca/μRを標的とした慢性リンパ性白血病に関する抗体療法の確立」

野坂　哲哉（三重大学大学院医学系研究科病態解明医学講座感染症制御医学）
「白血病幹細胞発生機構の解析」

橋井　佳子（大阪大学医学部小児科　医師）
「フローサイトメトリーによる小児骨髄異形成症候群に対する細胞表面マーカーの検索」

横田　貴史（大阪大学大学院医学系研究科　血液･腫瘍内科）
「Secreted Frizzled-related proteinsによる急性リンパ性白血病の制御」

FLRF

◆平成１８年度研究賞受賞者◆

田中　淳司（北海道大学大学院医学研究科癌診断治療学講座血液内科学分野　助教授）
「白血病に対する抑制性NK細胞受容体発現細胞を応用する治療法の開発」

平位　秀世（京都府立医科大学感染免役病態制御学教室　助手）
「C／EBPbeta誘導を標的とする新規白血病治療法の開発」

松下　竹次（国立国際医療センター小児科　医師）
「急性リンパ性白血病の治療に伴う心筋障害の発生に関する研究（ALL心機能検査2005）」

中田　慎一郎（東京医科歯科大学大学院発達病態小児科　医師）
「ONA損傷により停止した細胞周期の回復機構およびその異常による染色体転座発生機構の解析」

富田　真理子（琉球大学大学院医学研究科病原生物学分野）
「オーロラキナーゼを標的とする成人T細胞白血病治療の可能性」

佐藤　賢文（京都大学ウイルス研究所感染免役研究領域　博士研究員）
「HTLV-Ⅰマイナス鎖にコードされるHBZ遺伝子の発がんにおける意義」

山口　博樹（日本医科大学内科学内科学血液内科　助手）
「日本人における、Glutathione S-Transferase遺伝子の遺伝的多型が造血幹細胞移植における
buslfanの体内動態および治療関連毒性に及ぼす影響」

前馬　秀昭（金沢大学大学院医学系研究科小児科　助手）
「造血細胞系統別のAML1/ETO陽性細胞に解析と白血病化に関わる二次的遺伝子異常の検索」

高橋伸一郎（東北大学病院検査部　助手）
「Elt3変異型急性骨髄性白血病に対する効果的な治療法の開発」

FLRF

◆平成１７年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
北村　俊雄（東京大学医科学研究所先端医療センター細胞療法分野　教授）
「骨髄異型性症候群の発達と白血病への進展の分子機序の解明」

【清水賞】
森尾　友宏（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発達病態小児科学分野同大学医学部付属病院細胞治療センター　助教授）「造血幹細胞移植後の白血病再発、生着不全、日和見感染症に対する細胞治療に関する研究」

【ウエラ賞】
瀬戸　加大（愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部　部長）
「成人T細胞性白血病リンパ腫のゲノム異常と病型・病態との関連の解析」

【クレディセゾン賞】
森下　和広（宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野　教授）
「EVI 1遺伝子群によるGATA-2遺伝子調節と白血病発症機構の解析」

【ＫＹＯ賞】（順不同）
増田　茂夫（東京大学医学部附属病院血液・腫瘍内科　医師）
「ヒト急性リンパ性白血病（T-ALL）に対する新規分子標的薬剤（Notchシグナル阻害剤）の開発」

根来　英樹（福井大学医学部第一内科）
「急性白血病におけるゲノム薬理学を応用したテーラーメイド治療の確立」

加藤　裕子（千葉大学大学院医学研究院先端応用医学講座細胞分子医学）
「骨髄性白血病や骨髄増殖性疾患において白血病幹細胞システムの実態が明らかになりつつある。本研究では純化した造血幹細胞・前駆細胞と効率の良い遺伝子導入法を用いて、白血病原因遺伝子によって発現が制御される遺伝子群の中から白血病幹細胞の自己複製に必須な分子を同定することにより白血病幹細胞システムの分子メカニズムを解明することを目的とする」

井上　彰子（大阪医科大学小児科学教室　助手）
「Non-Steroidal anti－inflammatory drugs(NSAIDs)の抗腫瘍効果は大腸癌などの固形腫瘍だけでなく造血器腫瘍に対しても示されており、その作用にはNSAIDsによるアポトーシス誘導の関与が知られている。しかしその機序は尚明らかでなく、機序の解明は副作用の軽減や臨床応用の可能性を知る上で重要である。本研究は培養白血病細胞における種々のNSAIDs（選択的COX2阻害剤を含む）によるアポトーシス誘導機序の解明を目的とする。」

【一般研究賞】（順不同）
岡崎　俊郎（鳥取大学医学部病態解析医学講座臨床検査医学血液内科　教授）
「細胞死誘導脂質ｾﾗﾐﾄﾞによる白血病の分子標的療法の開発」

桐戸　敬太（山梨大学医学部付属病院血液内科　助教授）
「ホメオタンパク質の機能破綻による白血病発症機構の解明」
原田　浩徳（広島大学原爆放射線医科学研究所血液内科　病棟医長広島大学原爆放射線医科学研究所血液内科　病棟医長）
「AML1点突然変異を持つMDS/AMLの発症機序の解明」

坂田　尚己（近畿大学医学部小児科学教室　講師）
「EBウイルス関連T/NK細胞増殖症におけるEBウイルス持続感染に伴う宿主感染リンパ球シグナル伝達系の変化と、それによるリンパ増殖性発症機序の解明」

山本　健一（金沢大学がん研究所細胞制御研究部門細胞分子病態研究分野　教授）
「DNA修復におけるc-Ablファミリーの役割解析と分子標的薬剤開発への応用」

FLRF

◆平成１７年度研究賞受賞者◆

柴山　浩彦（大阪大学大学院医学系研究科血液･腫瘍内科）
「急性骨髄性白血病および骨髄異型形成症候群の病態形成における
抗アポトーシス分子アナモルシンの果す役割の解明と診断･治療への応用」

岩間　厚志（千葉大学大学院医学研究院先端応用医学講座細胞分子医学　教授）
「正常造血幹細胞で機能する自己複製分子の白血病幹細胞における役割」

半下石　明（東京大学医学部付属病院血液腫瘍内科）
「GeneChipを用いた白血病におけるゲノムコピー数変異の網羅的解析」

赤路　健一（京都府立医科大学大学院医学研究科　教授）
「成人T細胞白血病ウイルス由来プロテアーゼの立体構造解析に基づく抗白血病薬の設計」

高木　正稔（国際医療福祉大学付属三田病院小児科　講師）
「遺伝性毛細血管拡張性小脳失調症Ataxia Telangiectasia責任遺伝子ATMによる
DNA障害チェックポイントと白血病発症の分子機構」

平山　雅浩（三重大学医学部付属病院小児科　講師）
「マウスモデルによる非遺伝母主要組織適合性抗原に対するトレランス獲得機序の解明

藤本　哲広（　熊本大学発生医学研究センター造血発生分野COEリサーチアソシエート）
「EVI1遺伝子群によるGATA-2遺伝子調節と白血病発症機構の解析」

※「荻村孝記念難病治療研究振興基金」は、平成2、3年度研究費を助成。
日本白血病研究基金は「荻村孝記念難病治療研究振興基金」を基に平成4年公益信託設定の認可を得ました。

FLRF

◆平成１６年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
前川　平（京都大学医学部附属病院　輸血細胞治療部　教授）
「難治性Ph陽性白血病に対する革新的な分子標的細胞治療法の開発」

【清水賞】
奥田　司（京都府立医科大学大学院　医学研究科分子標的癌予防医学　講師）
「造血関連転写因子AML1/RUNX1の変異による白血病発症機構の解明」

【ウエラ賞】
真部　淳（　聖路加国際病院　小児科　医師）
「小児の骨髄異形成症候群に対する分子標的療法の基礎的研究と臨床展開」

【クレディセゾン賞】
本田　浩章（広島大学原爆放射線医科学研究所　組織再生制御研究分野　教授）
「Retrovirus-taggingを用いた慢性骨髄性白血病急性転化原因遺伝子の探索」

【ＫＹＯ賞】（順不同）
山崎　聡　（九州大学病院第1内科　医師）
「臍帯血中には免疫担当細胞であるT･NK･NKT細胞の活性が弱く、同種免疫反応が弱いため、十分な移植片対腫瘍効果が期待できない可能性がある。本研究では、臍帯血移植における移植片対腫瘍効果の増強のための試みとして、特にNKT細胞に着目し、移植片対腫瘍効果の発現メカニズムを解明する」

石山　謙　（金沢大学附属病院　血液内科　助手）
「抗原ペプチド/MHC分子高結合性CTLの誘導を指標とした腫瘍抗原の同定新規ワクチン療法の開発」

宝迫　睦美（岡山大学大学院医歯学総合研究科　病態探究医学　助手）
「急性白血病細胞に対する活性酸素による蛋白質の番羽訳後修飾を介した情報伝達経路修飾の解折」

【一般研究賞】（順不同）
赤尾　幸博（岐阜県国際バイオ研究所　遺伝子診断部　医師）
「造血器腫瘍における翻訳開始因子rck/P54の関与」

赤塚　美樹（愛知県がんセンター研究所　医師　腫瘍免疫学部　室長）
「同種造血細胞移植後に再発する、ハイリスク造血器腫瘍に対する免疫療法の確立」

澤田　明久（大阪府立母子保健総合医療センター　診療主任）
「白血病や悪性固形腫瘍に対する造血幹細胞移植後において、ドナーNK細胞による標的細胞殺傷能を発揮させることで、治癒率が改善しうるかを検証する。」

清水　則夫（東京医科歯科大学　難治疾患研究所　ウィルス感染学分野）
「臍帯血移植後のDLI治療の実用化研究」

鈴木　治彦（名古屋大学大学院　医学系研究所　助教授）
「CD8+CD122+制御性T細胞による骨髄移植後の免疫応答制御の試み」

瀧谷　公隆（大阪医科大学小児科　医師）
「急性前骨髄性白血病細胞におけるレチノイン酸分化誘導機構の解明
（急性前骨髄性白血病におけるレチノイン酸分化誘導時に発現する転写因子群の機能解析）

谷脇　雅史（京都府立医科大学大学院　分子病態検査医学附属病院　血液内科　教授）
「SKY法による成人Ｔ細胞白血病に特異的な染色体遺伝子再構成の同定と新しい病型分類の確立」

FLRF

都築　忍（愛知県がんセンター研究所　遺伝子医療研究部）
「TEL-AML1型小児白血病モデルマウスによる白血病化機構の解析」

豊嶋　崇徳（九州大学病院遺伝子･細胞治療部　助教授）
「白血病に対する造血幹細胞移植療法による効腫瘍効果に関する研究」

直江　知樹（名古屋大学大学院医学系研究科　病態内科学講座分子細胞内科学　教授）
「白血病に選択性を有するキナーゼ阻害剤の基礎的研究」

西井　一浩（三重大学　医学部第2内科　医師）
「c-kit遺伝子codon816にmutationを持つt（8；21）急性骨髄性白血病の細胞学的特性および分子標的治療の開発」

原　孝彦（財､東京都医学研究機構東京都臨床医学総合研究所腫瘍生化学研究部門　室長）
「ホメオプロテインMeis1によるAML発症促進の分子機序」

平尾　敦（慶應義塾大学　医学部発生･分化生物学助手）
「造血幹細胞ならびに白血病幹細胞のマーキングとその動態解明」

水木　満佐央（大阪大学大学院医学系研究所　分子病態内科学（血液･腫瘍内科）講師）
「腫瘍原性チロシンキナーゼの新規阻害療法の開発」

湊　長博（京都大学医学研究科　免疫細胞生物学　教授）
「低分子G蛋白、Rap1の制御破綻に基づく骨髄性ならびにリンパ性白血病発症とその修復」

FLRF

◆平成１５年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
田内　哲三（東京医科大学病院　医師）
「テロメラ―ゼを標的とした難治性白血病の分子標的療法の開発」

【清水賞】
瀧原　義宏（広島大学原爆放射線医科研幹細胞機能学研究分野　教授）
「ポリコーム遺伝子群による造血幹細胞活性を支持する分子基盤の研究」

【ウエラ賞】
加藤　和則（札幌医科大学医学部分子医学研究部門　助教授）
「改変型CD40リガンドを用いた免疫遺伝子療法の開発研究」

【クレディセゾン賞】
薗田　精昭（京都府立医科大学　助教授）
「新規ヒト臍帯血由来CD34抗原陰性幹細胞の同定とその幹細胞特性の解明」

【ＫＹＯ賞】（順不同）
上　昌広（国立がんセンター中央病院）
「急性白血病に対する骨髄非破壊的前処理を用いた同種造血幹細胞移植（ミニ移植）の抗腫瘍効果の解析」

山本　幸也（Harvard Institutes of Medicine）
「血液細胞特異的転写因子PU.1の造血細胞分化における役割と急性骨髄性白血病発症のメカニズムの解析」

石川　久美子（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学）
「慢性活動性EBV感染症におけるサイトカイン産生からみた免疫異常の病態解析」

【一般研究賞】（順不同）
長澤　正之（東京医科歯科大学発生発達病態学　講師）
「トポイソメラ―ゼⅡ阻害剤による白血病発症の分子生物学的メカニズムの基礎的研究」

鈴木　健之（京都大学医学研究科先端領域融合医学研究機構　助教授）
「ウイルスタギングを用いた白血病原因遺伝子の単離」

石井　秀始（自治医科大学医学部分子病態治療研究センター幹細胞制御研究部　講師）
「白血病における染色体脆弱部発見に関する研究」

古川　良尚（鹿児島大学第3内科　医師）
「成人T細胞白血病（ATL)の発症過程におけるウイルス側の変異（宿主免疫機構からの逸脱）と宿主遺伝子の変異（癌抑制遺伝子の変化）の役割の検討」

出口　隆生（三重大学医学部小児科　医師）
「小児急性リンパ性白血病細胞の増殖とアポトーシス抑制における骨髄間質細胞と白血病細胞の分子間相互作用の果たす役割についての研究」

小野寺　雅史（筑波大学臨床医学系血液内科　講師）
「HLA不適合幹細胞移植を可能にする遺伝子細胞療法の確立」

神崎　秀嗣（ 京都大学ウイルス研がんウイルス研究部門細胞制御　研究員）
「原がん遺伝子による染色体複製の制御機構の研究」

※「荻村孝記念難病治療研究振興基金」は、平成2、3年度研究費を助成。
日本白血病研究基金は「荻村孝記念難病治療研究振興基金」を基に
平成4年公益信託設定の認可を得ました。

FLRF

◆平成１４年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
加藤　俊一（東海大学総合医学研究所　教授）
「白血病に対する臍帯血移植の治療成績改善のための基礎的研究」

【清水賞】
下田　和哉（九州大学医学部附属病院　第一内科　助手）
「慢性骨髄性白血病急性転化機構の解明および早期遺伝子診断」

【ウエラ賞】
仲　哲治（大阪大学大学院医学研究科　分子病態内科学　助手）
「白血病の病因におけるサイトカインシグナル制御蛋白（SOCSfamily 分子）の解析および白血病の治療における遺伝子治療を含めた臨床応用」

【クレディセゾン賞】
恒松　由記子（国立成育医療センター　小児腫瘍科血液科　医長）
「わが国小児がんから発生した治療関連二次性白血病の実態調査とその対策について」

【一般研究賞】（順不同）
安藤　潔（東海大学医学部　教員）
「ストローマ細胞の骨髄内直接移植法によるヒト造血器悪性腫瘍生体内モデル系の確立」

石川　秀明（山口大学大学院医学研究科　応用医工学系生体シグナル解析医学講座　助教授）
「インターロイキン6による多発性骨髄腫の発癌機構の研究」

門脇　則光（京都大学大学院医学研究科　血液病態学　助手）
「同種造血幹細胞移植後の慢性 GVHD における免疫調節性T細胞の役割」

小松　則夫（自治医科大学内科学講座血液学部門　助教授）
「FKHRL1 転写因子およびその下流分子を標的とする白血病の新たな治療戦略法の開発」

滝　智彦（東京大学医学部附属病院　小児科　助手）
「MLL-AF4 ファミリー融合遺伝子による急性リンパ性白血病の発症機構の解明」

丸　義朗（東京女子医科大学医学部薬理学　教授）
「Imatinib 耐性慢性骨髄性白血病の分子機構」

吉田　均（大阪大学大学院医学系研究科　分子制御内科　医師）
「CD47 を介するリンパ系腫瘍の進展・浸潤の制御機構の解明」

FLRF

◆平成１３年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究賞】
田中　信之 (日本医科大学老人病研究所免疫部門　教授)
「癌抑制因子による造血系細胞の分化･アポトーシス制御及びその制御系の破綻による白血病成因の分子機構の解析」

【清水賞】
古川　雄祐（自治医科大学分子病態治療研究センター）
「血球分化に伴うクロマチン･リモデリングのメカニズムの解析と白血病分化誘導療法への応用」

【ウエラ賞】
気賀沢　寿人（神奈川県立こども医療センター）
「小児急性骨髄性白血病の治療法の開発」

【一般研究賞】(順不同)
山梨　裕司（東京医科歯科大学難治疾患研究所腫瘍ウィルス分野　教授）
「チロシンキナーゼ関連白血病におけるDOKファミリー蛋白質の機能」

森　直樹（長崎大学熱帯医学研究所）
「NF-kB阻害剤による成人T細胞白血病の分子標的療法」

千葉　滋（東京大学医学部血液･腫瘍内科）
「NOTCHシグナル修飾による造血幹細胞移植後GVHDの制御」

石原　重彦（石田クリニック小児科医）
「EBウィルス関連リンパ増殖性疾患の病因･病態に関する研究」

FLRF

◆平成１２年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究費】
林　泰秀（東京大学医学部付属病院　小児科　医師）
「転座による白血病発症機構の遺伝子発現プロファイリングによる解析」

【清水賞】
織谷　健司（大阪大学大学院医学系研究科　分子制御内科　助手）
「骨髄抑制の無い新規インターフェロン様サイトカインLimitinの臨床応用」

【ウエラ賞】
河上　裕（慶応大学医学部先端医科研究所　細胞情報研究部門　教授）
「血液細胞特異的蛋白(Proteinase3とCathepsinG)の日本における多型性と同種骨髄移植における多型ペプチドに対する免疫反応の白血病治療への応用の検討」

【一般研究賞】（順不同）
中村　充（自治医科大学分子病態研究部　講師）
「B前駆細胞性白血病におけるEーセレクチンカウンターリガンド機能に関する研究」

河野　嘉文（国立九州ガンセンター小児科　医師）
「親子間などHLA不適合ドナーからの造血細胞移植術に関する研究」

清井　仁（名古屋大学医学部付属病院　難治感染症部　医師）
「急性骨髄性白血病におけるFLT3遺伝子変異とその意義」

岡村　純（国立九州ガンセンター臨床研究部長）
「多施設参加による小児骨髄異形成症候群の治療法の確立に関する研究」
共同研究者（真部淳・東大医科学研究所小児細胞移植科）共同研究者（中畑龍俊・京大小児科）

石丸　文彦（岡山大学医学部第2内科　助手）
「癌抑制遺伝子Ikarosの機能解析」

高橋　宗春（東京大学医学部付属病院　血液・腫瘍内科　助手）
「白血病の移植治療における次世代造血幹細胞体外増殖法の開発」

◆平成11年度研究賞受賞者◆

【荻村孝特別研究費】
松村 到（大阪大学医学部大学院医学系研究科 助手）
「白血病細胞における腫瘍性増殖・分化の停止機構の解析と新規癌遺伝子のクローニングの試み」

【清水賞】
森内 浩幸（長崎大学医学部小児科学講座 教授）
「ヒト成人T細胞性白血病ウイルス（HILV）の性行為感染及び母児感染のメカニズムについての研究」

【ウエラ賞】
高橋 淳（京都大学大学院医学研究科 血液病態学 助手）
「アポトーシス細胞死の実行因子カスパーゼ及び制御因子Bcl－2ファミリーの白血病、前白血病病態への関与」

【一般研究賞】
木崎 昌弘（慶応義塾大学医学部 内科 専任講師）
「分化・アポトーシスの分子制御機構に基づいた新しい白血病の治療法の開発」

黒川 峰夫（東京大学医学部 血液腫瘍内科 助手）
「転写因子の機能異常による白血球発症の分子機構」

◆平成１０年度研究賞受賞者◆

間野 博行（自治医科大学）
「新しい発現クローニング法を用いた慢性骨髄性白血病急性転化責任遺伝子の単離」

岡村 隆行（大阪府立母子保健医療センター）
「小児急性白血病における微小残存腫瘍の臨床的意義」

泉二 登志子（東京女子医科大学）
「急性白血病における薬剤耐性機構に関する研究」

◆平成9年度研究賞受賞者◆

稲葉 俊哉（自治医科大学）
「慢性骨髄性白血病に対するインターフェロン療法の作用機序の解明」

駒田 美弘（三重大学医学部）
「白血病細胞におけるFas/Fasリガンド系を介した細胞死誘導の耐性化機構の解明」

FLRF

◆平成8年度研究賞受賞者◆

杉山　治夫（大阪大学医学部保健学科）
「WT1 assayによる白血病の微小残存病変の検出法の確立とそれを用いた新しい白血病治療法の開発」

鏡味　良豊（愛知県がんセンター）
「マウス造血幹細胞への遺伝子導入によるヒト白血病関連遺伝子MLLの機能解析」

◆平成7年度研究賞受賞者◆

石井　栄一（佐賀県立病院好生館小児科）
「多施設共同研究による乳児白血病の病因の解明と治療法の確立に関する研究」

三谷　絹子（東京大学医学部附属病院第3内科）
「前白血病状態が急性白血病に移行する機序の解析」

◆平成6年度研究賞受賞者◆

小泉　晶一（金沢大学医学部）
「薬剤耐性におけるP糖蛋白以外の多剤耐性関連蛋白（MRP）の基礎的、臨床的検討」

小林　広幸（防衛医科大学校検査部）
「リボザイムによる抗白血病剤の耐性克服」

◆平成5年度研究賞受賞者◆

湯尾　明（国立病院医療センター）
「骨髄性白血病の分化と増殖におけるチロシンキナーゼの役割」

杉田　憲一（獨協医科大学第2小児科）
「小児の白血病の治療の免疫学的研究」

◆平成3年度研究賞受賞者◆

東　英一（三重大学医学部小児科）
「多耐性白血病細胞に対するP糖蛋白特異的細胞障害性T細胞の誘導」

杉田　克生（千葉大学医学部小児科）
「高発癌性遺伝疾患におけるDNA修復調節異常の解析」

増田　道彦（東京女子医科大学血液内科）
「急性白血病に対するキラーT細胞の殺細胞効果」

宮地　勇人（東海大学医学部臨床病理）
「多剤併用に伴う抗腫瘍剤耐性に関する研究」

◆平成2年度研究賞受賞者◆

平井　久丸（東京大学医学部第3内科）
「微量残存白血病の高感度検出法の確立とその臨床応用」

宮下　俊之（国立小児病院小児医療研究センター）
「ヒトリンパ造血系細胞の分化、癌化の分子機構に関する研究」